

# TOTO

## 大便器自動フラッシュバルブ オートクリーンC(発電タイプ) (パブリックコンパクト便器CS494系専用)

TEVN30M型(水道水)  
TEVN40M型(再生水)

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 1-1. 安全上の注意(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

**注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

**禁止** は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。

**強制** は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

注意	
機能部に水をかけない 故障の原因になります。	
強い力や衝撃を与えない 破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
凍結が予想される場所には設置しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。	
本体の通水路には抵抗となるような部材（オリフィスなど）をつけない 洗浄性能への悪影響や水漏れのおそれがあります。	

注意	
<b>水場使用禁止</b> 	浴室など湿気の多い場所には設置しない 故障の原因になります。 
<b>分解禁止</b> 	分解したり、修理・改造は絶対に行わない 故障の原因になります。 
<b>必ず実行</b> 	空気の混入が考えられる給水配管には必ず空気抜き弁を取り付け、空気が配管内に残らないようにする 新築・改修工事後や、水道断水復旧後に、大量の空気と水が混入して器具に供給されると、器具の破損や故障の原因となり、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 
	取付接続部に腐食・ひび割れ・水漏れなどのないことを十分に確認のうえ、取り付ける 故障や水漏れの原因になります。 
	ピストンおよび止水栓フィルターの掃除をする際は、いきなりピストンおよび止水栓フィルターを取り出さず、止水栓または元栓を確実に閉めてから行う (P.9を参照してください) 水が噴き出て、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。 
	自動フラッシュバルブ本体は重いため取り扱いには十分に注意する 便器などに落とすと、便器が破損して水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。また、けがをするおそれがあります。 
	作業時は手袋など適切な防護具を使用する 予期せずけがをするおそれがあります。 

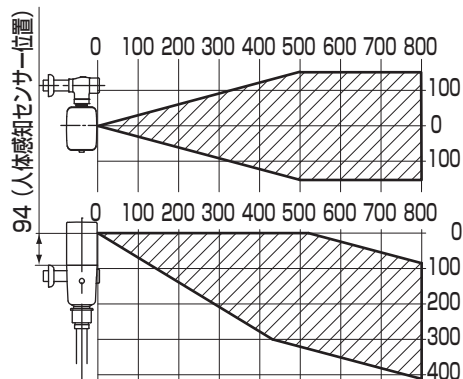
## 2-1. 取り付け前に

### 1. 取付条件の確認

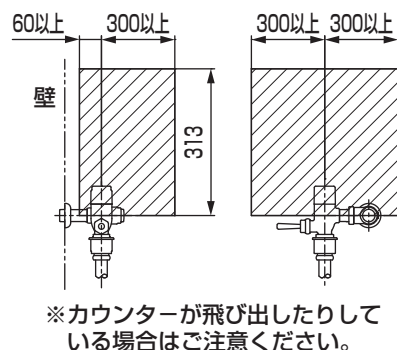
- TOTOの腰掛便器CS494系専用の自動フラッシュバルブです。
- 下記A～Dへは取り付けできませんので事前にご確認ください。

(単位：mm)

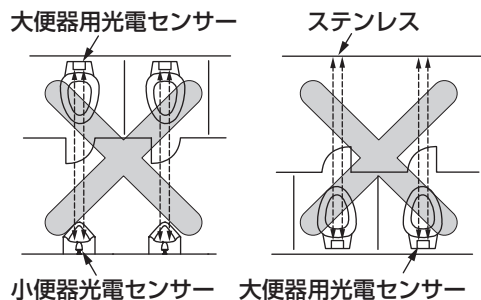
#### A. 下記感知領域内に障害物がある場合



#### C. 既設フラッシュバルブ付近に手すりなどがある場合 (斜線は必要空間寸法)



#### B. 光電センサー正面の壁がステンレスなど反射しやすい場合や、光電センサー同士が対向する場合



#### D. 背もたれ・トイレアームレスト、簡易昇降便座 人体感知センサー取付位置の関係上、誤感知しますので、使用できません。

- C14系の床給水便器からの取り替えの場合は、専用洗浄管とフランジが必要です。TN129R (水道水以外を使用する場合はTN129DR) を別途手配してください。

### 2. センサーについて

- 太陽光が入る場所では太陽光の影響で光電センサーが作動(感知)しない場合や誤作動する場合があります。
- 男性が立位で小用を足す大便器では、センサーの取付位置の関係より、使用者を感知することができません。
- 誤感知する場合がありますので、使用後、または清掃後は便座を下げてください。また、便ふたは取り外してください。
- 施工の際にセンサー面を傷つけないよう十分にご注意ください。
- インバーターや赤外線を用いた他の機器により誤作動することがあります。

### 3. 洗浄水について

- TEVN30M型は水道水のみ、TEVN40M型は水道水・井戸水・再生水・雑用水に使用できます。ただし、井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

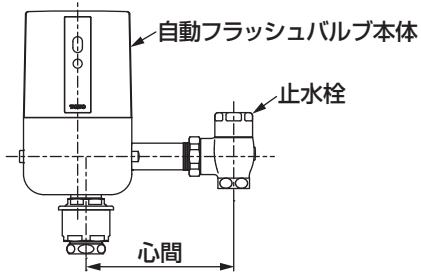
ホームページアドレス：<https://www.com-et.com/jp/>

### 4. その他

- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。
- 水道工事と電気工事は、十分に工程を打ち合わせのうえ行ってください。
- 自動フラッシュバルブ本体の給水方向は、左右どちらにも対応できます。
- 床給水の場合は、パイプホルダーで給水管と洗浄管を確実に固定してください。

●心間調整について

壁給水用は心間120~130mm、床給水用は180±10mmで心間調整が可能です。それ以外の心間にする場合は、下記品番の連結管を別途ご購入ください。(取替要領はTHD89P型の施工説明書を参照してください)

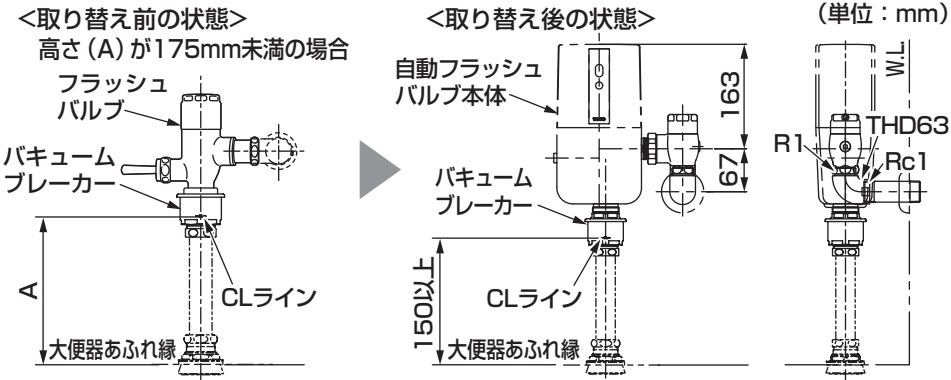


TH品番	心間寸法(mm)
THD89P120	120(0~+10)
THD89P140	140±10
THD89P160	160±10
THD89P180	180±10
THD89P200	200±10

心間は標準寸法に対して±10mmの範囲で調節可能です。ただし、心間120mm連結管の場合は120~130mmで調節可能です。

●バキュームブレーカーの取り付けについて

- ・バキュームブレーカーは、便器のあふれ縁からバキュームブレーカーのCLラインまで150mm以上になるように設置してください。
- ・給水高さを変更できない既存の壁給水配管をそのまま利用するリモデルなどの場合で、且つ既存便器からCS494系の発電タイプの自動フラッシュバルブ本体に置き換える場合で、大便器あふれ縁からバキュームブレーカーのCLラインまでの高さが150mm以上確保できないときは別途、壁給水接続金具 (THD63) をご購入ください。(下図は発電タイプとTHD63のセット)



**注意**

取り替え前的大便器あふれ縁からバキュームブレーカーのCLラインまでの高さが175mm未満の場合は、本商品に取り替えるとCLラインまでの高さが150mm未満になるため、必ず壁給水接続金具 (THD63) が必要です。

### 3. 施工時の注意事項

#### スイッチユニット (別売品) について

- 発電タイプは、組み合わせるスイッチユニットが無線タイプ (TES46M、47M型) となります。
- 有線タイプ (TES46U、47U型) のスイッチユニットとはセットできません。
- THE28型 (人体感知センサーユニット) はセットできません。

スイッチユニットをセットする際は、必ずスイッチの同期設定を行ってください。スイッチの同期を行わない場合、商品が正常に作動しませんのでご注意ください。

※同期の取りかたは、スイッチユニットの施工説明書をご確認ください。

### 4. 仕様

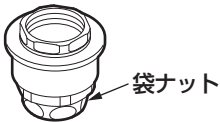

タイプ	パブリックコンパクト便器CS494系専用 (発電タイプ)	
	露出タイプ	
便器標準洗浄水量	大: 4.8L / 小: 3.6L	
給水圧力	最低必要水圧 (流動時)	0.07MPa
	最高水圧 (静止時)	0.75MPa ※ただし、流動圧0.5MPa以上は止水栓調節が必要
商品寸法 (カバー外寸)	自動フラッシュバルブ本体部: 132×92×235	
電源	発電機+バックアップ電池	
人体感知距離	自動調節: 500~800mm (手動調節: 500~900mm未満に調節可能) ※白紙□300mmの場合	
人体感知時間	6秒間以上	
自動洗浄開始時間	人体感知が切れて10秒後または6秒後に設定可能 工場出荷時: 10秒	
小洗浄判定時間	120秒または150秒に設定可能 工場出荷時: 120秒	
自動洗浄	入/切 切替可能 工場出荷時: 入	
大小洗浄	大/大小 切替可能 工場出荷時: 大小	
設備保護洗浄	24時間洗浄がない場合は自動洗浄します 入/切 切替可能 工場出荷時: 入	
給水接続部	25A (ねじサイズ: R1)	
使用温度範囲	1~40℃	
使用水	TEVN30M型: 水道水のみ	
	TEVN40M型: 水道水、井戸水、再生水、雑用水	

(注) 井戸水・再生水・雑用水は、使用できる水質範囲があります。詳しくは、下記アドレスのホームページを参照してください。

ホームページアドレス: <https://www.com-et.com/jp/>

## 5. 部品の確認

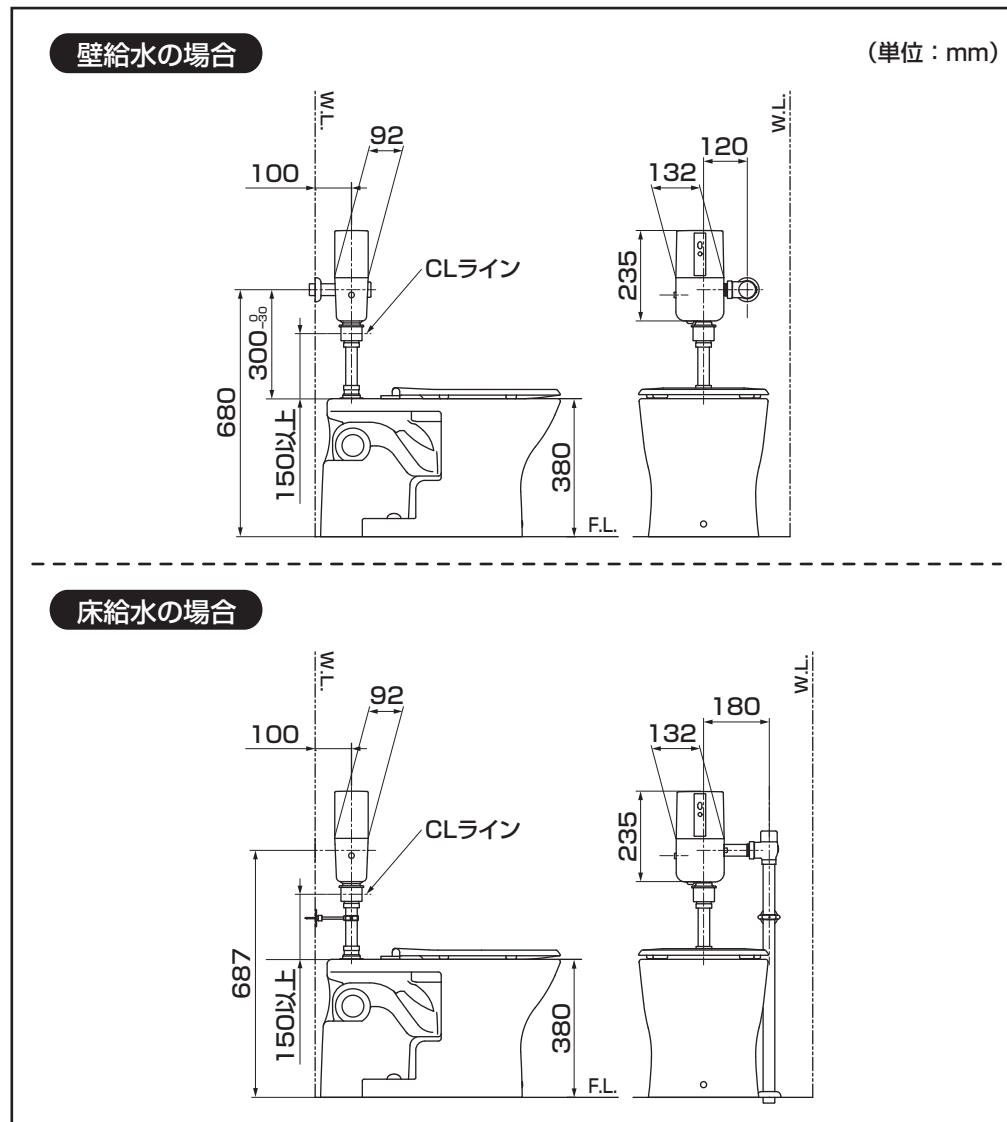
次の部品があることを確認してください。

自動フラッシュバルブ本体部	給水・洗浄管部
 <p>連結管</p> <p>自動フラッシュバルブ本体</p>  <p>袋ナット</p> <p>バキュームブレイカー</p>	 <p>フィルター付き止水栓</p>  <p>洗浄管</p>  <p>スパッド</p>  <p>給水管</p>  <p>フランジ</p>
その他	
 <p>施工説明書</p>  <p>使いかたラベル</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center;"><b>必ずお客様にお渡しください</b></p>  <p>取扱説明書</p>  <p>掃除用磁石</p> </div>

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

## 6. 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



※バキュームブレイカー側面の「CL」ラインから便器のあふれ縁までは150mm以上を確保してください。  
「CL」(Critical Installation Level)とはバキュームブレイカーの空気吸入シート面の位置を示す線です。

# 7-1. 施工手順

1 スパッドと洗浄管の取り付け

2 給水管とフィルター付き止水栓の取り付け

3 給水方向を変更する場合

4 バキュームブレーカーの取り付け

5 自動フラッシュバルブ本体の取り付け

6 洗浄水量の調節

7 コネクターの接続

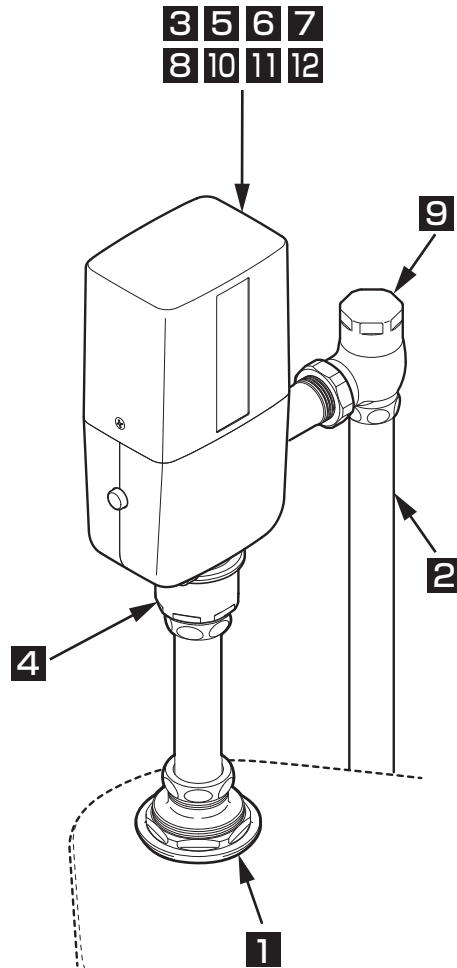
8 スイッチの同期

9 止水栓フィルターの清掃

10 水勢の確認

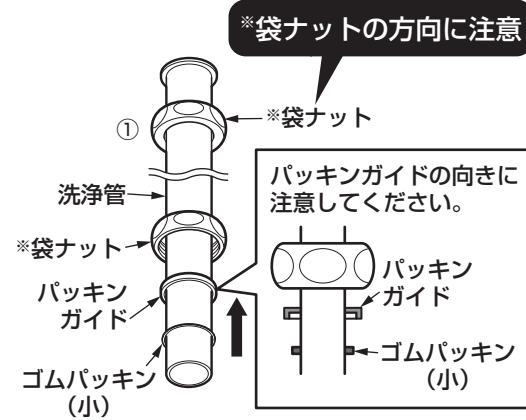
11 試運転

12 上カバーの取り付け



## 1-1 スパッドと洗浄管の取り付け

① 洗浄管に※袋ナット(2個)、パッキンガイド、ゴムパッキン(小)を挿入する。

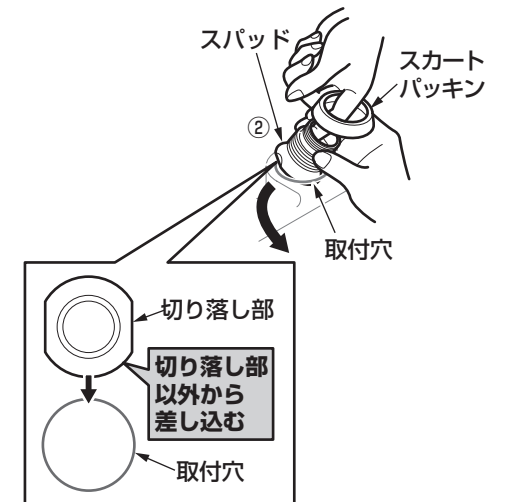
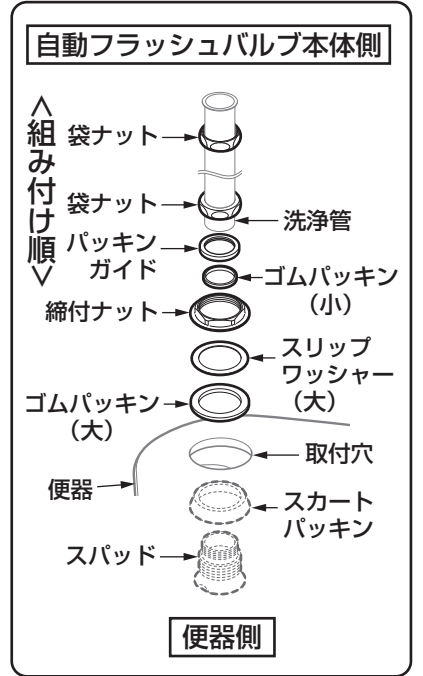


### 注意

パッキンガイドの向きと順番を間違えると水漏れのおそれがあります。

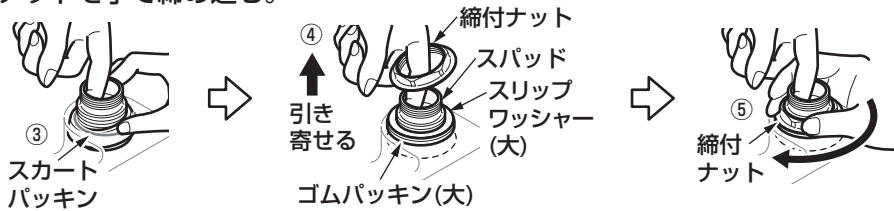
② あらかじめ指にスカートパッキンを通し、スパッドを落とさないように取付穴に差し込む。

右図のように切り落し部以外から取付穴に入れ、切り落し部を通過させるように差し込んでください。  
※始めに切り落し部から差し込むと、取付穴と干渉し、通過しない場合があります。

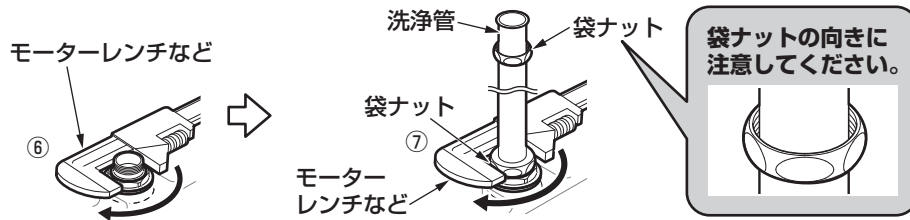


### 1-2 スパッドと洗浄管の取り付け (つづき)

- ③スパッドと陶器の間にスカートパッキンを押し込み、スパッドに組み込む。
- ④ゴムパッキン(大)・スリップワッシャー(大)の順にスパッドに組み込む。
- ⑤あらかじめ指に締付ナットを通し、スパッドを取付穴の中心で引き寄せ、締付ナットを手で締め込む。



- ⑥最後にモーターレンチなどの工具を使用して確実に締め込む。
- ⑦スパッドに①でセットした洗浄管を差し込んで、袋ナットを締める。



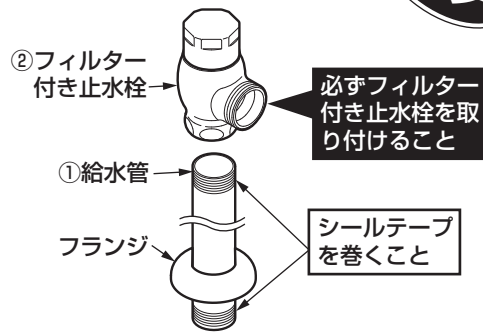
### 2 給水管とフィルター付き止水栓の取り付け

**重要**

自動フラッシュバルブ本体を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

- ①給水管を所定の位置に取り付ける。
- ②給水管にフィルター付き止水栓を取り付ける。

必ず同梱のフィルター付き止水栓を取り付けてください。



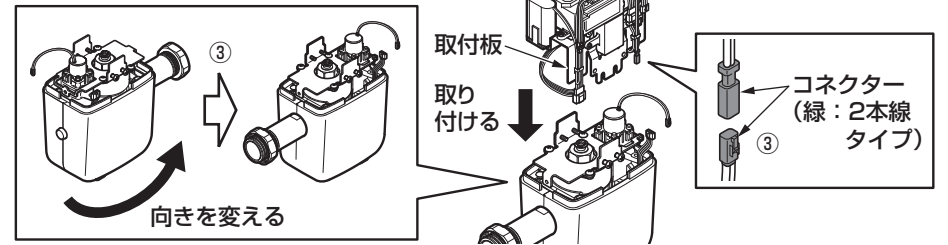
**注意**

フィルター付き止水栓を使用しないと、配管内のごみが流れ込んで商品内の定流量弁部にゴミが詰まり、正常に機能しなくなります。

### 3 給水方向を変更する場合

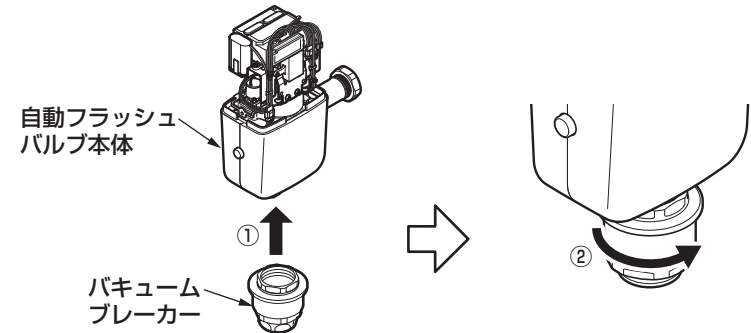
この作業は自動フラッシュバルブ本体を洗浄管に差し込む前に行ってください。

- ①上カバーを固定しているねじ(2カ所)を外し、上カバーを取り外す。
- ②コネクター(緑)を外し、取付板のねじ(2カ所)をゆるめ、取付板を取り外す。
- ③自動フラッシュバルブ本体の向きを変えて、前面側に取付板をねじ(2カ所)で取り付け、コネクター(緑)を接続する。



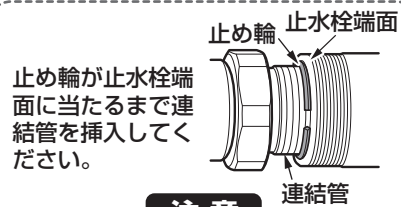
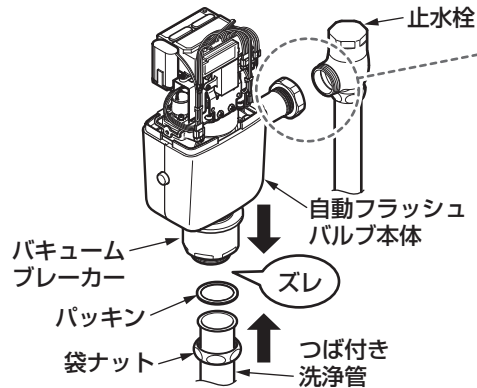
### 4 バキュームブレイカーの取り付け

- ①バキュームブレイカーを自動フラッシュバルブ本体に挿入する。
- ②バキュームブレイカーを回転させて締め付ける。



## 5 自動フラッシュバルブ本体の取り付け

- ①自動フラッシュバルブ本体を止水栓に仮接続する。
- ②バキュームブレーカーにつば付き洗浄管の袋ナットを仮接続する。
- ③自動フラッシュバルブ本体と止水栓の心間にズレがある場合は、下記の**心間調節方法**を参照して、調節する。

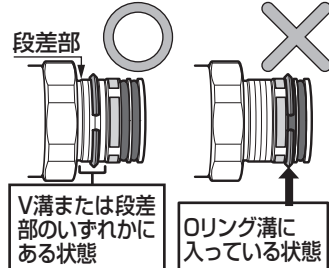


止め輪が止水栓端面に当たるまで連結管を挿入してください。

### 注意

挿入前に止め輪が正しく溝にはまっていることを確認してください。

正しい位置 誤った位置(例)



V溝または段差部のいずれかにある状態

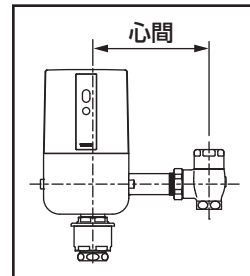
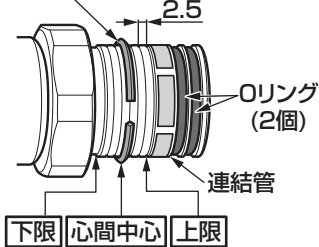
Oリング溝に入っている状態

### 注意

- つば付き洗浄管の袋ナット部には必ずパッキンが入っていることを確認してください。
- つば付き洗浄管が長い場合はスパッド側を切断し、調節してください。

### 心間調節方法

止め輪 (V溝に沿って動かす) V溝のピッチは2.5mmです。 (単位: mm)



(心間180の場合) 170~180~190  
(心間120の場合) (-)※120~130

※標準仕様で対応できるのは心間120~130または170~190mmまでです。

- ④工具を使って袋ナットを確実に締め付ける。

すき間約1mm



止水栓と袋ナットのすき間が約1mmとなること。  
(約1mm以上すき間が開いている場合は、連結管の挿入不良または袋ナットの締め付け不足の可能性があるので、手直してください。)

袋ナット締め付け後に赤マークが見える場合は、止め輪の位置を手直してください。

### 注意

- 止め輪が変形している場合は使用しないでください。止め輪と袋ナットは確実に施工してください。(正しく施工されていない場合、水が噴き出て、家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。)
- 自動フラッシュバルブ本体は縦向きに取り付けてください。斜めや横向きに取り付けると不具合の原因になります。

## 6-1 洗浄水量の調節

**本製品は通常、洗浄水量の調節が不要です。**

ただし、汚物が流れない場合は、自治体条例モードに設定し、洗浄水量を変更してください。

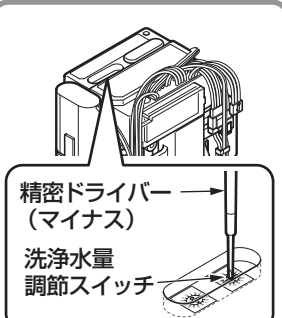
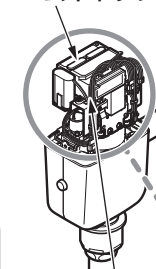
- ・自治体条例により、洗浄水量を変更する必要がある場合
- ・腰掛便器の側面にセットする場合
- ・標準設定で汚物が流れない場合

### 【作業手順】

- ①コントローラー上面の左側のゴムキャップを外す。
- ②精密ドライバー(マイナス)などで適正水量に調節する。適正水量については、P.8の表を参照してください。

P.8以外の洗浄水量調節スイッチ番号で設定された場合は、商品が正常に動作しませんのでご注意ください。

ゴムキャップ



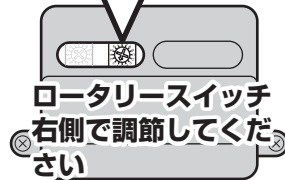
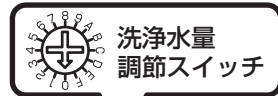
精密ドライバー (マイナス)

洗浄水量調節スイッチ

コントローラー

## 6-2 洗浄水量の調節 (つづき)

	CS494系：腰掛便器		
	標準	自治体条例対応モード	
洗浄水量調節 スイッチ			
大洗浄	4.8L	6L	8L
小洗浄	3.6L	5L	6L



コントローラー上面図

## 注意

- 記載の位置以外で設定された場合は、商品が正常に動作しませんのでご注意ください。
- 配管条件により水たまり面が低くなる場合は、必ず **8. 水たまり面の設定方法** を参照しながら水たまり面の設定をしてください。
- 和洋リモデル工法の場合は、必ず **8. 水たまり面の設定方法** を参照しながら水たまり面の設定をしてください。  
この設定の場合、洗浄水量は大洗浄6L、小洗浄4.8Lになります。

③調節後、ゴムキャップを取り付ける。

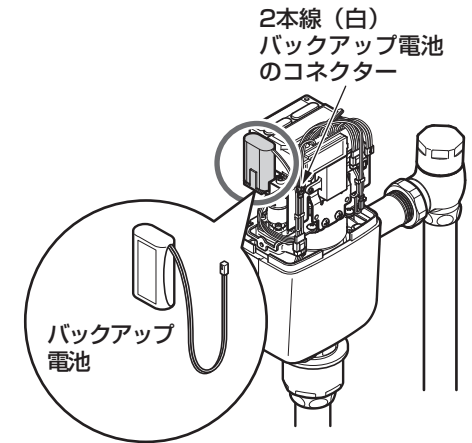
## 7 コネクターの接続

バックアップ電池のコネクターを接続する。

※コネクター接続後、センサーが感知可能になるまでに約2分かかります。

## 注意

コネクター接続後10分間は、感知するたびに人体感知センサー窓ガラス内の感知表示ランプが点滅しますが、その後は、感知しても点滅しません。

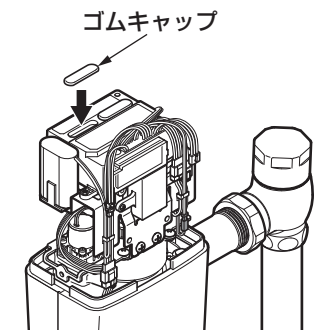


## 8 スイッチの同期

①スイッチ (別売品：TES46M型/47M型) を取り付け、自動フラッシュバルブ本体との同期設定を行う。

スイッチの取り付けかた、同期の取りかたは、スイッチの施工説明書をご確認ください。

②スイッチの同期が完了したら、コントローラーのゴムキャップを取り付ける。





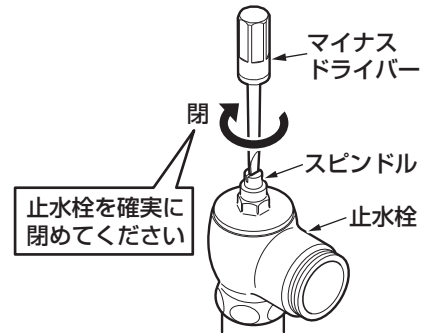
## 9 止水栓フィルターの清掃

重要

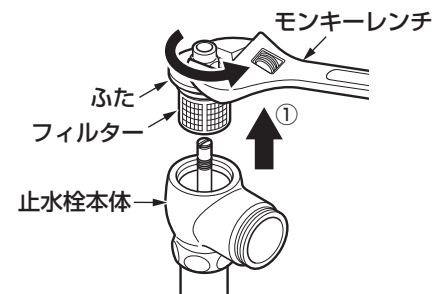
最初に止水栓を確実に閉めてください。

- ①モンキーレンチなどで、止水栓のふたを開け、フィルターごと引き抜く。

このとき、フィルターに付着したごみを止水栓内に落とさないように注意してください。

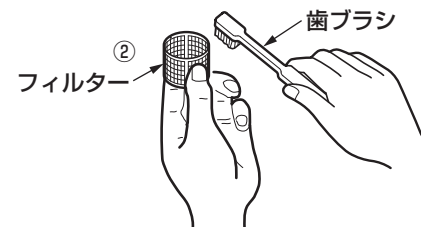


- ②ふたからフィルターを外し、歯ブラシなどで異物を除去する。



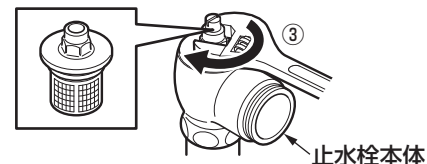
- ③フィルターをふたに装着した状態で止水栓本体にふたを取り付け、モンキーレンチで確実に締め付ける。

※フィルターが止水栓内に引っかかった際は、無理にふたを閉めないでください。フィルターが破損します。  
※ふたを開け閉めする際は、先にスピンドルを確実に閉めてください。水漏れや破損の原因となります。



## 注意

設置直後は配管内のごみが流れ込んで止水栓フィルターにごみが詰まりやすくなります。ごみが詰まったままご使用されると洗浄不良の原因になります。



## 10 水勢の確認

通常、この自動フラッシュバルブは水勢確認は不要です。

(注意喚起ラベルも不要なためはがしてください)

ただし、**流動時の水圧が0.5MPaを超える場合は**、便器からの水があふれたり、節水ができないことがありますので、便器に同梱の説明書に記載されている内容をご確認のうえ、**止水栓を調節してください。**

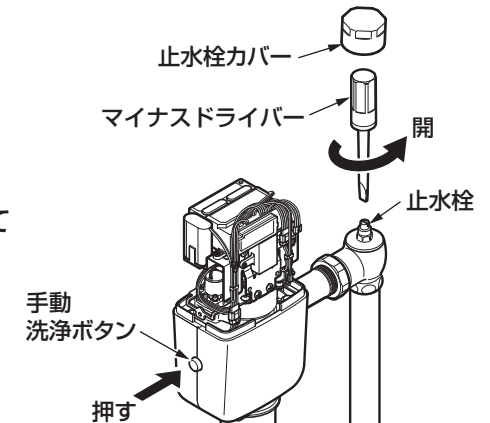


この作業を行う際はバックアップ電池のコネクター接続後、2分以上経ってから行ってください。それ以前に通水すると、止水しない場合があります。

- ①止水栓カバーを取り外す。

- ②止水栓を全開にする。

- ③手動洗浄ボタンを10秒以上押して水勢を確認する。



現場水圧などの設置条件によっては、定流量弁の特性上、脈動音が発生する場合がありますが、異常ではありません。音が気になる場合は、止水栓を絞ることで音が低減する場合があります。

## 11 試運転

- 本商品はバックアップ電池のコネクターを接続後、作動するまで2分間必要です。
- 試運転は、必ず上カバーをかぶせて行ってください。(カバーのねじ固定は不要です)

## 自動洗浄

- ①人体感知センサーを感知させると、感知表示ランプが点滅します。
- ②6秒以上点滅させたあと、感知を外すと、感知表示ランプが消灯します。
- ③感知表示ランプが消灯したあと、約10秒後に洗浄水が自動で流れることをご確認ください。

ただし、人体感知センサーの感知表示ランプの点滅はバックアップ電池のコネクター接続後、約10分間ですのでご注意ください。感知表示ランプを再度点滅させるには、バックアップ電池についている白色のコネクターを抜いて、人体感知センサーの4秒周期の点滅が始まったら再度、コネクターを入れてください。

また、洗浄開始から約5秒間、人体感知センサーの感知表示ランプが点灯することをご確認ください。ただし、押ボタンでの洗浄時は感知表示ランプは点灯しません。

万一、洗浄時に人体感知センサーの感知表示ランプが点灯しない場合は、何らかの原因で発電機が故障していますので、TOTOメンテナンス(株)(TEL ☎ 0120-1010-05 FAX ☎ 0120-1010-02)へ修理をご依頼ください。



感知表示ランプが  
消灯しない場合

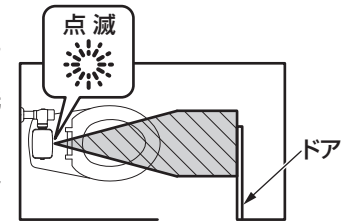


立ち去っても  
感知表示ランプが  
消灯しない場合

感知距離を自動調整します。3分以上、障害物を感知すると自動的に距離を調節しますのでお待ちください。それでもトイレブースの壁や便器を感知する場合は、感知距離の再設定が必要となります。

設定方法は **9. 切替スイッチの調節** を参照してください。ドアを開けたままで人体感知センサーの感知表示ランプが点滅する場合にも、感知距離の再設定を行ってください。

※人体感知センサーが壁やドアを感知していると正確に人体を感知できず、大小洗浄の判定や自動洗浄ができなくなります。またバックアップ電池の早期切れにもなり、寿命が短くなります。



スイッチユニットと自動フラッシュバルブ本体の同期が取れていることをご確認ください。  
同期の取りかたはスイッチユニットの施工説明書または自動フラッシュバルブ本体に同梱されている取扱説明書をご確認ください。

## センサースイッチでの洗浄

※人体感知センサー(自動フラッシュバルブ本体)の感知が2秒以上必要です。別売品のセンサースイッチ使用時、手かざしセンサーから5cm以内に約2秒手をかざすと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。



## タッチスイッチでの洗浄

※人体感知センサー(自動フラッシュバルブ本体)の感知が2秒以上必要です。別売品のタッチスイッチ使用時、ボタンを押すと、洗浄水が流れることをご確認ください。ただし、1度洗浄しますと、その後約10秒間は再洗浄できませんのでご注意ください。



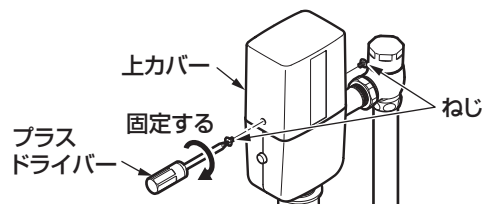
水たまり面が正常な状態であることをご確認ください。詳しくは **8. 水たまり面の設定方法** を参照してください。

使用者に操作方法がわかるように、使用方法ラベルを見やすい壁面に貼り付けてください。(このラベルは、お客様に確認してから貼ってください)

## 7-7.

### 12 上カバーの取り付け

コードをかみ込まないように、十分注意しながら上カバーをセットし、ねじで固定する。



## 8-1. 水たまり面の設定方法

配管条件により、水たまり面が低くなる場合は、以下の設定をしてください。便器洗浄してから約5秒後に便器水たまり面に追い水が流れます。

### 注意

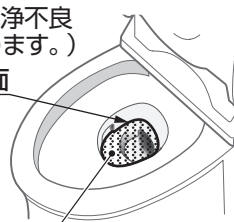
和洋リモデル工法の場合、大洗浄6L、小洗浄4.8Lとなります。

#### 正常な状態

設定変更は不要です。

(設定を行うと、洗浄不良になる場合があります。)

正常な水たまり面

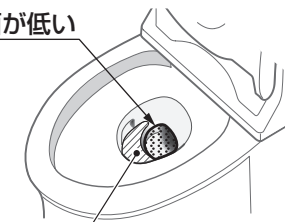


この面まで水がたまっている

#### 水たまり面が低い状態

設定変更を行ってください。

水たまり面が低い



この面(斜線部分)まで水がたまっていない

〈水たまり面の判断に迷ったときは…〉

ペットボトルやバケツなどで徐々に水を足し、水たまり面が上昇しない場合は正常です。

※水たまり面が低いと汚物付着の原因になります。

排水管に曲がりが多かったり、通気が不十分だったりすると、水たまり面が低下する場合があります。

### 設定方法

#### 7-4-6 洗浄水量の調節

で行った水量の設定を右表で確認し、当てはまる設定についてP.12の手順で設定をしてください。

### 注意

記載の位置以外で設定された場合は、商品が正常に動作しませんのでご注意ください。

	CS494系：腰掛便器		
	標準	自治体条例対応モード	
洗浄水量調節スイッチ			
大洗浄	4.8L	6L	8L
小洗浄	3.6L	5L	6L

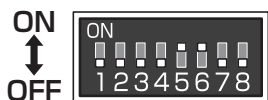
設定1 (P.12) へ

設定2 (P.12) へ

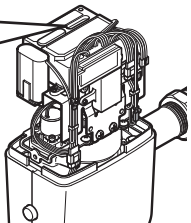
### 設定1

#### 手順1

切り替えスイッチ「5」と「6」をONに切り替えてください。



※工場出荷時は切替スイッチ「5」「6」はいずれもOFFに設定しています。



#### 手順2



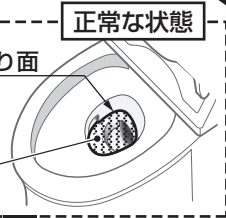
便器洗浄すると約5秒後に水たまり面に追い水が流れます。

#### 手順3

##### 正常な状態

正常な水たまり面

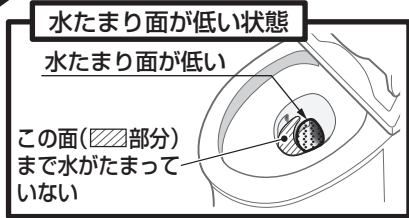
この面まで水がたまっている



##### 水たまり面が低い状態

水たまり面が低い

この面(斜線部分)まで水がたまっていない



設定完了

追い水が流れない・追い水量が少ない

#### 手順4

追い水量の設定をします。

右図のように洗浄水量調節スイッチを「0」から「1」→「2」→「3」→…「D」→「E」→「F」まで必ず時計回りに1つつ順に回し、便器水たまり面が正常な状態になるまで手順2→手順3→手順4を繰り返してください。

※この設定を行うと、矢印の方向(時計回り)に回すほど追い水量が増えます。



時計周り

1つつ順に回す

精密ドライバー(マイナス)

洗浄水量調節スイッチ

コントローラ前面図



右側のスイッチを使用します

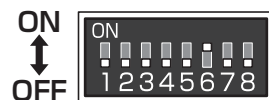
#### 注意

- 洗浄水量調節スイッチは必ず水たまり面が正常な状態になったところで設定を完了してください。
- 洗浄水量調節スイッチを過剰に回すと、規定の水量よりも多く流れる場合があります。

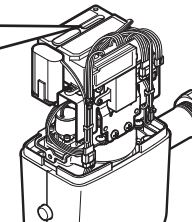
### 設定2

#### 手順1

切り替えスイッチ「6」をONに切り替えてください。



※工場出荷時はOFFに設定しています。



#### 手順2



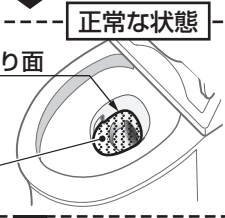
便器洗浄すると約5秒後に水たまり面に追い水が流れます。

#### 手順3

##### 正常な状態

正常な水たまり面

この面まで水がたまっている



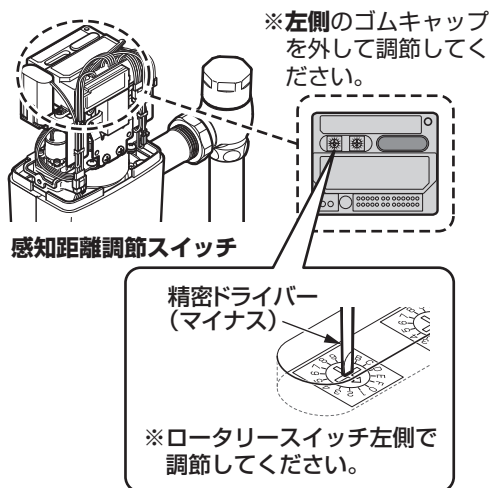
設定完了

# 9-1. 切替スイッチの調節

## 感知距離の設定 (人体感知センサー)

コネクタの接続が完了後、3分以上経っても人体感知センサーの感知表示ランプが点滅したままの場合は、自動調節がうまくできていないため、以下の手順に従って手動での感知距離設定を行ってください。

※感知表示ランプが消灯した場合は、手動での感知距離設定は不要です。



### 手動での感知距離設定方法

- ①精密ドライバーを使用して、感知距離調節スイッチを「0」⇒「5」へ回す。
- ②スイッチ切り替え後、上カバーをかぶせた状態で10秒経過後も人体感知センサーの感知表示ランプが消灯しない場合は、感知表示スイッチを1つ下げてください。  
(例：「5」⇒「4」へ切り替える)
- ③人体感知センサーの感知表示ランプが消灯するまで②の作業を繰り返してください。

感知表示ランプが消灯したら設定完了です。

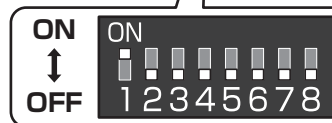
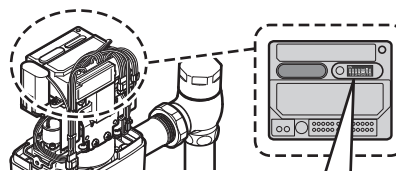
### 【感知距離の設定】

スイッチ	0	1	2	3	4	5
感知距離 (単位：mm)	自動調節	500	600	700	800	900
		手動調節				

※工場出荷時は「スイッチ0：自動調節」に設定してあります。

※上記以外の位置に設定すると商品が正常に動作しませんのでご注意ください。

## 自動洗浄切替方法



※コントローラー右側のゴムキャップを外して調節してください。

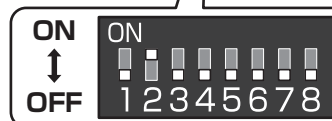
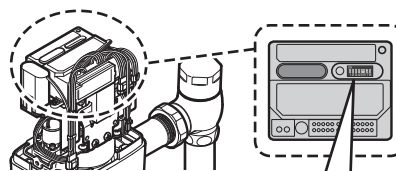
### スイッチ1を切り替える。

スイッチ1	自動洗浄
ON	なし
OFF	あり

←工場出荷時

工場出荷時は、流し忘れ防止のため、使用者が立ち去ったあとに自動で洗浄するように設定しています。自動洗浄が不要な場合は、自動洗浄を「なし」に切り替えてください。

## 自動洗浄開始時間の切替方法



※コントローラー右側のゴムキャップを外して調節してください。

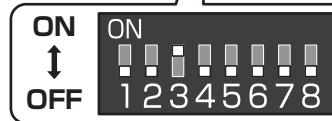
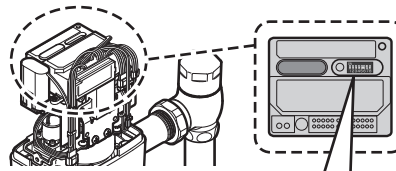
### スイッチ2を切り替える。

スイッチ2	自動洗浄 開始時間
ON	6秒
OFF	10秒

←工場出荷時

工場出荷時は10秒に設定しています。自動洗浄までの待ち時間が長く感じる場合は、6秒に切り替えてください。

## 大小洗浄切替方法



※コントローラー右側のゴムキャップを外して調節してください。

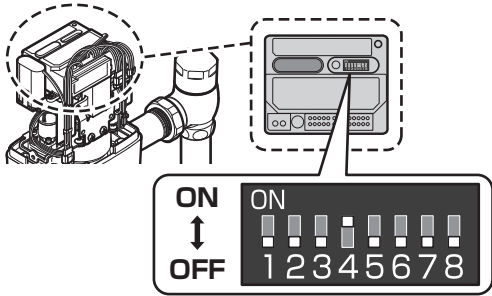
### スイッチ3を切り替える。

スイッチ3	大小洗浄
ON	なし ※大洗浄のみ
OFF	あり

←工場出荷時

工場出荷時は大小洗浄「あり」に設定しています。大小洗浄の切り替えが不要な場合は、大小洗浄「なし※(大洗浄のみ)」に切り替えてください。

## 小洗浄判定時間切替方法



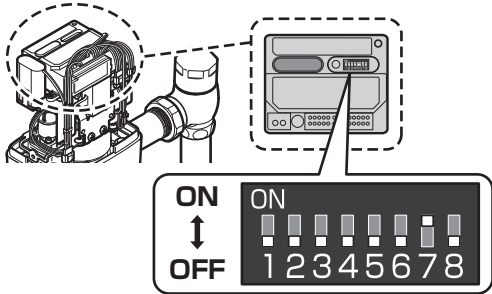
※コントローラー右側のゴムキャップを外して調節してください。

### スイッチ4を切り替える。

スイッチ4	小洗浄判定時間
ON	150秒
OFF	120秒 ←工場出荷時

人体感知センサーの感知時間により大／小便を判定して適正水量を流します。  
工場出荷時は小洗浄判定時間を120秒に設定していますが、スイッチ4をONに切り替えることで、150秒に設定することもできます。

## 設備保護洗浄の切替方法



※コントローラー右側のゴムキャップを外して調節してください。

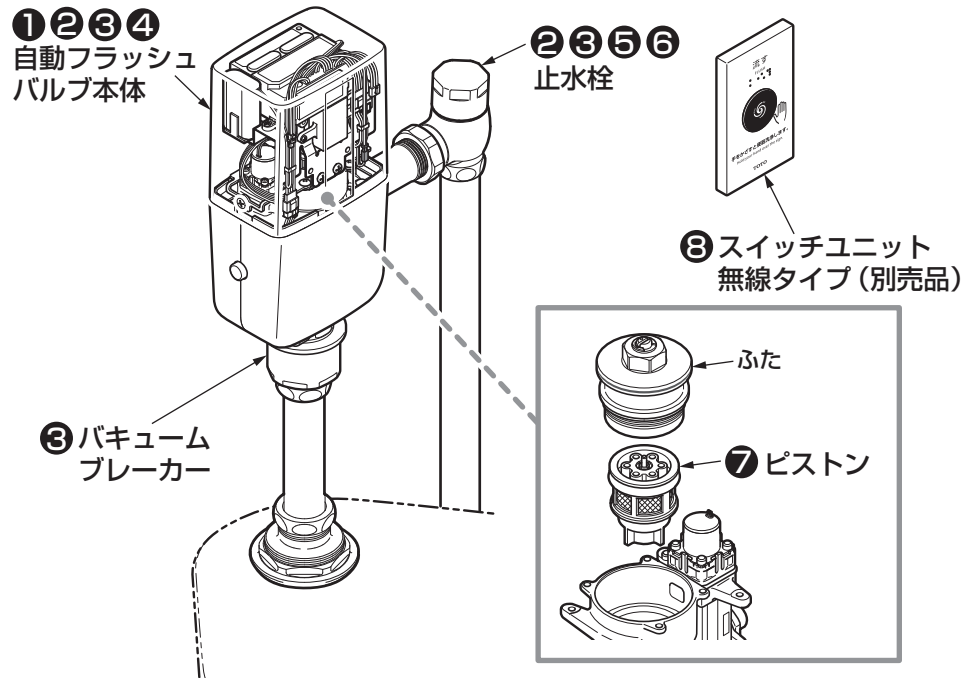
### スイッチ7を切り替える。

スイッチ7	設備保護洗浄
ON	切
OFF	入 ← 工場出荷時

工場出荷時は、24時間洗浄がない場合に配管を保護するため、自動的に洗浄するように設備保護洗浄を「入」に設定しています。  
設備保護洗浄が不要な場合は、設備保護洗浄を「切」に切り替えてください。

# 10. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



## 配線の確認

コネクターが接続されているか確認してください。

① コネクターは確実に接続していますか？

↳ 7.4. - 7 コネクターの接続 参照

## ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

② 自動フラッシュバルブ本体、止水栓はしっかり取り付けられていますか？

↳ 7.3. - 5 自動フラッシュバルブ本体の取り付け 参照

## 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

③ 接続部はしっかり締め付けていますか？

↳ 7.2. - 4 バキュームブレーカーの取り付け 参照

↳ 7.3. - 5 自動フラッシュバルブ本体の取り付け 参照

## 洗浄水量の確認

洗浄水量が少ないときや、設定どおりの洗浄水量が出ない場合は、次の項目を確認してください。

④ 洗浄水量は正しく設定されていますか？

↳ 7.4. - 6 洗浄水量の調節 参照

⑤ 止水栓は開いていますか？

↳ 7.5. - 10 水勢の確認 参照

⑥ 止水栓フィルターのごみ詰まりはないですか？

↳ 止水栓フィルターの掃除をする。

掃除方法は 7.5. - 9 止水栓フィルターの清掃  
を参照してください。

⑦ ピistonのごみ詰まりはないですか？

↳ pistonの掃除をする。



## 同期の確認

スイッチユニット (別売品) とセットするときは、正しく同期設定されているか確認してください。

⑧ スイッチユニットは正しく同期設定されていますか？

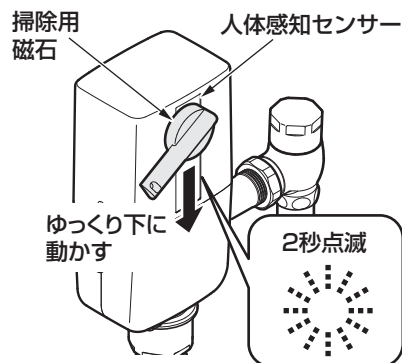
↳ 7.4. - 8 スイッチの同期 参照

# 11. 発電機の確認

取り付けが完了したあと、発電機の作動チェックを行ってください。

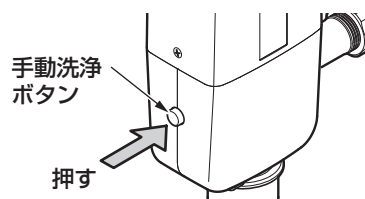
- ① 人体感知センサーのガラス上部からゆっくり掃除用磁石を下に動かして、窓部のランプが2秒間点滅するまで掃除用磁石を当てる。

洗浄停止モードに入ります。



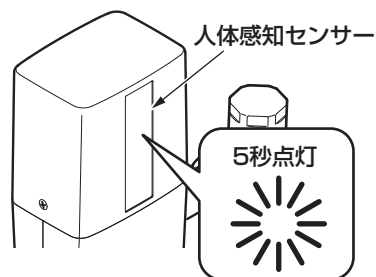
- ② 手動洗浄ボタンで水を流す。

バルブ本体の手動洗浄ボタンで水を流します。



- ③ 人体感知センサーのランプが5秒間点灯することを確認する。

羽根車が正常に作動していれば、人体感知センサーのランプが5秒間点灯します。



人体感知センサーのランプが点灯しなければ羽根車が停止しています。

TOTOメンテナンス(株)に修理を依頼してください。

TEL ☎ 0120-1010-05 FAX ☎ 0120-1010-02

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。